



根こそぎ抜き取られた現場

伐採前は緑の森になっていて春秋の晴れた日に木陰でバーベキューを楽しむ人が見られ憩いの場になっていた。



Google の写真から濃い緑が消える。樹木に伐採と書いたガムテープが張られていた。伐採は周知されてない？



稲葉荘 桜 樹齢33年 幹周り2.5m

二本に枝分かれした桜の古木。幹だらうと思う太い方の年輪は33数えられ、長い間市民の目を楽しませてきた。



稲葉荘 楠 樹齢35年 幹周り2.4m

年輪は35も数えられたが、楠にしては細いかも知れないが、桜の木と同じ時期にここに植えられたのだろう。



稲葉荘 榎木 樹齢19年

河川敷の何処にでも見られる樹種で年輪は19しかなく、流れ着いた種が芽を出しここまで成長したものと思う。



小曾根 アギニレ 樹齢36年

小曾根の堤防防水補強工事対象区域内に生えていてやむなく伐採されたのだろう。跡地は芝生になるのだろうか。

地図を見て頂ければお分かりになると思うが、河口部の松の保存を望む声が多かった事が記憶に残るが、この樹木が伐採されるとはフェントに掛かったような気分がする。

工事開始された現場を見ると、堤防防水補強工法、矢板工法、ドレーン工法を巧みに使い分け、伐採される松の木を最小にしようという努力の痕は伺えるものの、その他の雑木は伐採の対象になっているような感触がある。